

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		山県市ピッコロ療育センター(放課後等デイサービス)			公表日		令和8年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・適切である。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・児童発達支援、放課後等デイサービスの事業に関しては適切。	・保育所等訪問支援事業を行うことを考えると、職員数は足りていない。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・必要な物だけを用意したり、活動によって他の物が目に付きにくいよう環境を整えたりしている。 ・写真を使う等、視覚的にも示しながら声かけすることも必要に応じて行っている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日掃除や消毒を行い、指導中も窓を開放して換気したりや空気清浄機を活用したりしている。 ・個々の興味関心に合わせて活動を設定し、存分に楽しめるよう部屋の物の配置等もその都度変更している。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・毎回個別の部屋が割り当てられている。 ・指導室以外にも、ミーティングルームなど誰でもいつでも使える部屋が用意されている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・毎朝職員会を行い、意見を出し合っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・保護者向け評価表や保護者との話し合い、語る会などで頂いた意見を職員間で共有し、改善の必要性や方法を検討している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・事業所における自己評価を行ったり、日々の職員会で意見を出し合ったりしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・第三者委員に年数回来所して頂き、業務改善に必要な意見を頂けるようにしている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・研修の案内が来た時は職員間で共有し、必要に応じて参加している。	・今後も研修に参加できるよう日程調整をしたり、研修報告等の時間を確保したりする。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページ上に公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者と担当指導員が子どもと保護者のニーズや課題を把握した上で、支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者と担当指導員が話し合いながら計画を作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・子どもの行動を分析しながら記録している。 ・医療機関の発達検査結果も踏まえて支援を検討している。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・小集団活動は、その都度職員間で検討し、事前に打ち合わせをしてから行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・子どもの得意不得意や興味関心を把握し、様々な活動を楽しみながら行えるよう、バリエーションをつけて設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・挨拶や4の部屋等、状況に合わせて集団で行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・自分が担当している、していないに関わらず、指導中に気になる様子が見られた場合は報告し合い、見立てや支援の仕方などを職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎回の指導、支援について記録し、改善に役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に1回は必ずモニタリングを行い、必要に応じて見直しをしている。 ・状況に応じて回数を増やすこともある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	・行っている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・時間配分や活動量などを相談しながら決めたり、複数の中から選択したりする場面を、意図的に設定している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・時間配分や活動量などを相談しながら決めたり、複数の中から選択したりする場面を、意図的に設定している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・市教育委員会や子育て支援課とは常に情報共有しており、また山県医師会の医師にも施設の感染症対策委員会委員や協力医療機関になっていただいている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	・必要に応じて連携している。 ・学校へ見学に行き、情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	・必要に応じて連携し、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・当事業所は小学6年生までの通所となっているため、こちらから自発的に障害福祉サービス事業所等に情報提供することはないが、確認の連絡等があった場合は提供できるようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・連携は図っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		・子どもたちが他の子どもと交流したり活動したりする機会はない。 ・今後、ピッコロとして交流してほしいというニーズがあるかを保護者に確認し、ニーズがあれば機会の設定も検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	・子ども支援部会の事務局を務め、執行部会や全体会にも参加している。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・療育終了後に保護者との懇談時間を確保したり、ノートでやりとりしたりしている。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・療育講座や親さんと語る会など、保護者を対象とした行事を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・通所開始前の相談時、契約手続き時、指導開始時等に、分かりやすく説明するようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・通所開始前の相談時に意向を確認した上で作成し、支援している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・実際に書面で示しながら説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・家族からの相談に対して、担当指導員だけでなく、管理者や児童発達管理責任者、他の職員も含めて対応できる体制を取っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	・療育講座や親さんと語る会を行い、保護者同士で交流できる場を設定している。	・幼児の保護者に比べると、小学生の保護者は保護者同士の関わる場が少ない。 ・父母の会や保護者会は現在無く、きょうだい同士で交流する機会も行っていないため、保護者のニーズを確認し、必要があれば今後検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・苦情窓口係や第三者委員を設置し、いつでも迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・コドモンを活用しながら、掲示物やノート等でもお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報の取り扱いに関する研修を毎年受けており、十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・行事に民生委員の方に参加していただいている。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各種マニュアルをミーティングルームに掲示するとともに、コドモン上でも見られるよう設定し、保護者に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・策定した業務継続計画を基に、定期的に避難訓練や消火訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	・保護者への聞き取りや、相談票と家庭調査表への記入により把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食事の提供はしていないが、家庭調査票に記入してもらい、情報を得ている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・玄関のドアを施錠する等、安全に過ごせる環境で支援している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・ミーティングルームへの掲示とともに、コドモン上でも見られるように設定し、保護者に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・職員会で確認している。	・今後もヒヤリハットが起こらないように気を付ける。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・研修に参加している。 ・毎月チェックリストをつけている。	・今後も情報共有を欠かさず、職員全員が常に意識できるようにする。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	・現在は身体拘束が必要な子がいないため行っていない。 ・いつ利用されても良いよう準備はできている。		